

新潟県

公民館月報

昭和61年10月号

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【電話・新潟 (0252) 24-6073】(振替新潟0-4049)

発行人 会長 志水 亘

編集人 事務局長 上村 捨二郎

【定価1部 120円 年共・年産 1,440円】



獅子舞小画俳

佐渡小木町の小獅子 (指定文化財) を

描いてみることにした。ひとり立ちのこの小獅子舞は、腹に

太鼓をつけて打ち鳴らし、唄と笛に合

せて舞います。和船

時代に日本海を渡って小木港に入ったものと思われ、

「風流獅子舞」に属する獅子舞で、帆船が運んだ芸能

文化の一つです。鹿の頭に似ているところから、

「小鹿舞」とも呼ばれる珍しい神事芸能で、牡獅子は前額に鏡と刀を頂き、桜

の模様の幕を付けています。牡獅子は鏡に鹿の角を

いただき、紅葉の幕をつ

け、仔獅子は鏡のみを頂き

鶴亀の模様の幕をつけます。「たてがみ」は海草の

干したものをつけます。八月二十八日から三十日まで

の祭礼には、町内を舞いつ

つけ、他の芸能と重なり大

変な賑わいとなるわけです。田楽の歌詩には京都の

文化の匂いがします。「この宝蔵に参ろうと思えども

橋ばし木橋とうとにとまれよ、あまり踊れば花が散る。

いかに友達花の都へ」

画と文

(小木町社会教育指導員 金子貞次郎)

第27回 関東甲信越静公民館研究大会



高まる 一堂に 伸 間意識 会す千余人

さる九月四・五日の両日、第27回関東甲信越静公民館研究大会が千葉県鴨川市グランドホテルで開催された。

管内からの参加者は約千名。本県から、佐野副会長(長岡市)以下、十四名が参加した。第二分科会では、基調提案を楠利雄氏(栄町)提案発表者には柳沢薫氏(小出町)司会には高橋康夫氏(身板町)。さらに、佐藤威美氏(県社会教育主事)から助言者として活躍していただいた。

今次の全体テーマは「意欲的会全体テーマによるシンポジウム」に発展させよう、公民館活動を「と管内の全公民館に呼びかけたものである。サブテーマは、「人間・地域・暮らし・文化をみつめて」。「このテーマは、いつまでもなく、今日の厳しい時代に対処する公民館として、創設40年の歴史を踏まえ、草創期の理想と理想を發揮して、存在感のある公民館にしようとする願いがこめられたもの。それだけに、例えば、全参加者が同一ホテルに宿泊し、交流集会を開くなど、研修の実をあげるため、多くの新機軸の内容を加え従来の研究会とはひと味もふた味も違ったものにしてしようとする。千葉県公連の意欲が浮き彫りになった研究会だった。第一日は開会式・基調提案、十八分科会に分かれての研究協議、二日目は、大



関フ口研究集会印象記

何よりも、千葉県公連の真摯な取り組みが、鮮明に印象づけられた研究集会だった。

その第一は、大会資料がほぼ一か月前に全参加者に送付されて来た。基調提案の詳細、分科会発表者のレジュメ・大会運営の流れなどが、あらかじめ全員に知らされ予習をして大会に臨む方式だった。

この方式は千葉大会だけのものなのかどうか、経験浅い編纂子には定かではないが、新鮮な驚きだった。研究会への意欲が倍加される気持ちになったのは私一人ではあるまい。

その第二は、基調提案・分科会・シンポジウムの三つが、連携調和を保っていたことである。また、全体テーマと切り結んだ分科会構成になっていた点にも敬服させられた。行革に関する部会や、障害者ための部会の新設などがそれである。基調提案によれば、

3 関フ口単位の公民館の総点検活動を展開してはどうか。(上村記)

- 1 関フ口所属都県を、それぞれ特色ある公民館像を二つものにとどめたい。
- 2 集会和集をつなぎ、より効率の高い研究会にするための理論研究会を持とう。
- 3 関フ口単位の公民館の総点検活動を展開してはどうか。(上村記)

はあく困難な

青年の仲間意識

南蒲栄町公民館 尾崎 光雄

第14分科会は「青年の学習と地域活動」をテーマに開催された。その中で、青年達の来るにあらかじめ指名された市町村による...



このたび、新潟市中央公民館の研究集会に参加させていただきまして、おすめ、関東甲信越静公民館した。10部10県の公民館関係者が...

多くの出会いに感激

新潟市中央公民館利用者団体代表 菊池 弘子

菊池 弘子

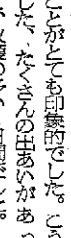


本年四月、市民事務部長から公民館勤務となった。取りかかり、公民館の目的、役割等を一応理解することができた...

公民館活動に思う

佐野 新一

は思つて暇もな忙しき。少なう。それには、常に市民の二つに思つた公民館活動が可能である...



余餘の増大、生活意識の多様化、さらにはコミュニティの意識が事業計画を編むなければならぬ...

「見直し」におもう

田村 達夫

国の米生産者に対する、各官庁の概算要求が八月三十日に出る。大蔵省では九月一日から予算案の作業に入った。...

目八目

市町村においても、算定期を迎える。その前提として、公民館も厳しい「見直し」を迫られている。見直しの対象は、事務費、人件費、事業費、それら使用料、受講料等收支の面におき、施設管理、事業運営の全般におよぶ。



10月17日は「貯蓄の日」明日の暮らしを考えましよう

存在感のある公民館に

—全体基調提案から—

一、集会の基調をどこにおくか

今、公民館は、言うところの「沈を市民とともに克服して」るのコミセン、カルチャーセンター、予算削減、民間委託化攻勢などの中にあつて、「氣息えんえん」としているの見る傾向もある。しかし40年の積み上げに自信をもち、堂々とその存在価値を主張し、きびしい状況

二、公民館をめぐる状況

「この一年に生じた新たな試練」

- ① 行単による、会館等公共施設の設置及び管理運営の合理化の問題
- ② 「施設建設費などに対する補助金は、地方自治体も廃止を求めている」といった一部マスコミの報道
- ③ 臨教審第2次答申によきびしい。しかし、この十

う。そのためには、「草創期の理想と活力を今こそ」發揮し、「意欲的に公民館の増充充実など、すぐれた発展をみ、その活力もある程度蓄積されている。だが公民館の充実発展に伴って必然的に生まれてきた課題や問題もある。

① 住民の学習要求の多様化、高度化に感じられない公民館へのイメージの不統一

② 職員の増加や施設の大規模化の中で、教育機関としての独自の管理運営等の創造が求められている。

- ③ 障害者の社会教育活動の保障への取りくみや、地域に根ざした活動の展開。
- ④ さらに、公民館を取りまく社会的条件の変化にかかわって、提起されてきた問題。
- ⑤ 予算の抑制・削減による事業の縮小や自由な計画の後退、公民館の自由性、独立性の弱体化
- ⑥ 総合行政の推進による公民館の自立性・教育性の希薄化の傾向
- ⑦ 職員の配置転換の短期間化傾向による、非専門職化、資質の低下傾向の増大
- ⑧ 民間教育産業との共存共栄の道の検討

がなかるうと思ふ。施設も予算も重要であるが、一番大切なものは、根本に、「地域のために何かをやらねば」という「人の心」なのだということを信じていく。

国松 まず、この公研集会の分科構成に一言。青年・婦人といった人間別から、テーマ別にしたらどうか。例えば、

①国際理解部会—これは、今日的な日本人の課題である。

②障害者学習部会—地域の生活者としての障害者と共に生きる学習で、公民館は、社会の弱い部分をとらえる公共性を柱にするこゝとが重要である。

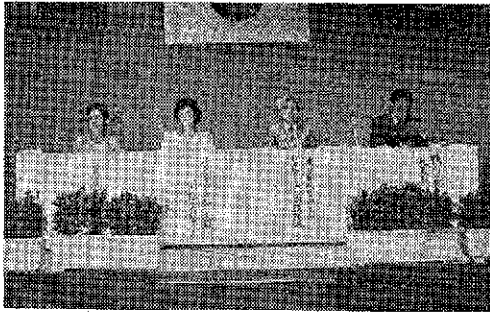
酒匂 「社会教育の歴史的使命は終わった」という、臨教審委員の発言に立ち向うには、公民館(社会教育)関係者の理論武装が必要である。

川上 入日3万の当鴨川市は、10の小学校区にそれぞれ公民館を設置している。公民館は、学社の連携の拠点とならなくてはいけない。(非行・いじめの問題

学ぶに集會研究

を活動公民館ようせ

文化をみつめてらし



登壇者
 川上 一男 一雄 子
 酒匂 実枝 山 崎
 長 川 園 松 遠
 市 川 園 松 遠
 教育 主 委 員
 京都 府 教 育 委 員
 東 京 都 教 育 委 員
 鴨 東 主 千 農 民 作 家

地域に根ざした公民館活動

—格調高いシンポジウム—

遠山 昭和二十三年、四年ころ、市原市で、戦争の荒廃からまず立ち上ったのは青年たちだった。ついで、母ちゃんたちだった。郷土の再興や、封建的な因襲からの解放を目ざして止むに止まれぬ情熱を燃やした。最後に父ちゃんたちが生活の勉強をするようになった。そして、これらはみんな、

20〜30戸くらいの集落単位の集りだった。場所は、お堂だったり、空地だったりした。今でいうコミュニティーの場であり、ミニ公民館だった。

川上 今日、中央に立派な公民館が建つようになったが、これは核となるもので、実際の活動の場はミニ公民館であるのは昔と変わり

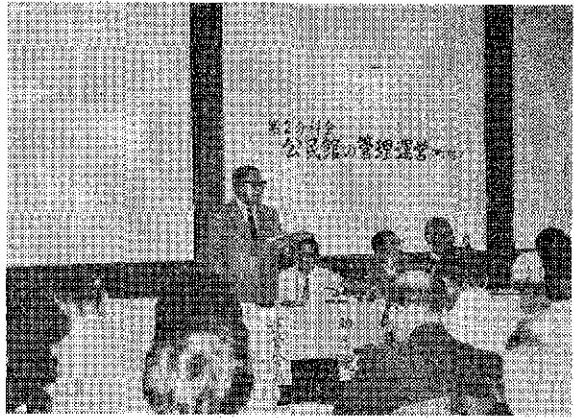
川上 入日3万の当鴨川市は、10の小学校区にそれぞれ公民館を設置している。公民館は、学社の連携の拠点とならなくてはいけない。(非行・いじめの問題

ついで、今、母として妻ジブシーと呼ばれる女性たちがいる。「地域に役立つ何か」を求めている人たちが。「地域への還元」の要素がないと、継続性のある力強い活動(学習)になりにくいことを示している。公民館職員は、生涯学習のカウンセラー・プランナーになってほしい。

川上 入日3万の当鴨川市は、10の小学校区にそれぞれ公民館を設置している。公民館は、学社の連携の拠点とならなくてはいけない。(非行・いじめの問題

関プロ公民館 意欲的に発展さ ～人間・地域・暮

基調報告に立つ楠氏



10月17日は「貯蓄の日」明日の暮らしを考えましょう

座談会 ―第2分科会(町村)― 「住民サービスと管理運営」

司会 関プロ公民館研究集
会の大役員 若原さまでし
た。
今回の千葉大会では、千
葉県公連の要請もあって、
分科会の運営に関して、あ
らかじめ、当番県の四者で
十分な打ち合わせをしてお
くようにということでした
。基調提案とシンポジウ
ムとの中間に位置する分科
会が前二者と脈絡を持った
ものにする必要があったわ
けですね。基調提案の主旨



実績を踏まえた自信ある活
動」をしているとみるかを
問うたものです。自信を持
った活動を展開し、存在感
のある公民館として、アピ
ールしようというのがねら
いです。柳沢氏の提案発表
の主旨もそこにあつたわけ
ですね。
柳沢 そうですね。管理運営
の問題というと、たいがい
公民館の貸しかた、鍵の掛
けかたといった利用上の問
題が主でした。これは、ど
ちらかというと消極的な内
容なので、思い切つて、
「事業を運営する方法と
評価の問題」を前面に出し
たいわけです。
司会 木番ではその意図は
生かされましたか。

高橋 何処の研究会でも、
自分のいいことだけ言
うという独善的な傾向が有
りがちなものですが、今回
もやはりそうでした。愚痴
や不満が多かったようです
。佐藤 それは無理もない
面もあるんです。参加者は
毎年同じ人が同じ分科会に
出るわけじゃありませんか
ら。
高橋 その点はおっしゃる
とおりです。それにしても
教育論の希薄化を感じま
す。イベント稼業じゃない
んです。公民館の事業の構
造的な展開や、地域・暮らし
に根ざした活動の展開に
話を向けようとしても応
じようとしないので困りま
した。
司会 大会資料を事前に全
参加者に送付して、あらか
じめ研修を進めて参加する
ようにという配慮がありま
したか。
柳沢 具体的には、あ
る程度資料に目を通して参
加していることはよく分か
りました。たとえば、職員
の問題には関心が高く、意
見の噛み合いが見られたよ
うでした。でも、総体的に
は、行政依存が強かった。
楠 事業の活性化を強調し
すぎたわけでもないのに、
反ばつ意見もありました
ね。「非常勤の我々館長は
何ができるのか、何
んの権限もない、だから新
しい事業を企画しても予算
がない」というのは簡単に没
したか。
高橋 「氣息えんえん」な
高橋 「氣息えんえん」な
高橋 「氣息えんえん」な



社会教育センターにする必
要があることを感じました
。柳沢 管理運営については
一面の捉えかたが多かつ
たようです。そのせいか、
公民館の活性化に関する意
欲はあまり感じなかつた。
佐藤 同感、公民館関係者
は自分から考えなければ
ならない。実はそのことを提
起したつもりだったが、だ
が、受入れられなくて残念
でした。
司会 どうも有難うござい
ました。
しかし、多様で格差の大
きな現状ではあつても、そ
の一つつの公民館が、存
在感のある活動を一層すす
も込んでいく現実には笑止す
べもない、公民館の教育性をもつ
ともっと追求し、コミュニ
ティ形成に向けて機能する
いきました。



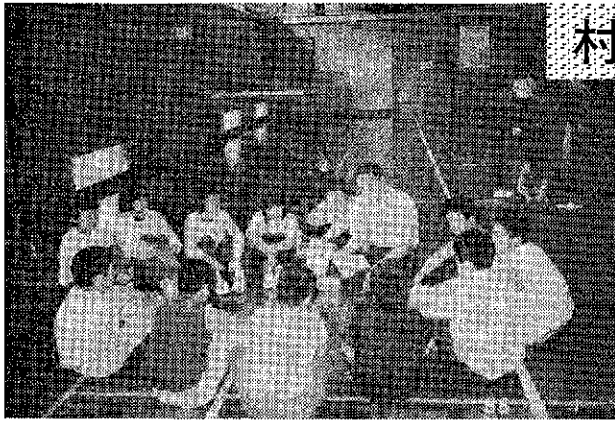
高橋 「氣息えんえん」な
高橋 「氣息えんえん」な
高橋 「氣息えんえん」な



8月22日、猛暑の中を、長岡市中央公民館
を会場に、関プロ公研集会の分科会運営につ
いて、事前研究を兼ねた打ち合せ会が開催さ
れた。

にされる。」といきまいて
いた館長がいました。
佐藤 参加者の多くは、教
育長・社会教育課長、非常勤
館長が多かつたから、どう
しても、「目的外使用」や「職
員」に関するものに興味関
心が集まりました。
楠 「目的外使用」に関す
る討論は活発でした。これ
は、どこでも困っている証
拠なんですよ。ね。「目的
外使用の禁止」などと言っ
てもどかしい無理な話だし、
どこかの館長が「いじめは
ここにもある」と言ってい
たのが印象的でした。
高橋 「氣息えんえん」な
高橋 「氣息えんえん」な
高橋 「氣息えんえん」な

村上中央公民館



担当者を中心に係会議

実践記録レリーズ

(14)

アンチヨコの効果抜群

—工夫をこらした子ども会研修会—

「子ども会研修会」と言えば、だいたい、どこの公民館でも実施している活動であろう。それでいて、その事業を実施するとなると、目標やねらいが明確でなかったり、計画が複雑だったりして、苦勞の多いわりに、成果が伴わないという公民館が少なくないと思う。これは、立案に当る公民館職員

が少数で多くの仕事をかかえているために多忙だということ、それ以上に合理的な企画実践がなされないからであろうと思う。当村上市では、十年以上続いているこの事業に、今年はいかにして、ムダを省き成果をあげるかについて工夫してみた。結果はまことに上々だった。

一、事業の企画

事業の企画は、職員二人で、今までの反省を参考にしながら、骨子を決めた。

1 目標を明確にした。

今回の活動のねらいは、「昔まじりの団体生活を通して自主性・社会性を伸ばすと共に、子ども会ジュニアリーダーとしての心構えを習う。」

重点事項……「協力すること」

- ①昔まじりの団体生活をおくろう
- ②友達をつなぐ
- ③リーダーとして、メンバーとして、お互いに協力しよう。
- ④、三本とした。

この目標を達成するため、班は、男女別、原則として、六人編成とし、引率者も参加児童

も、役割を受け持つこととした。実施後、評価をする上で、アンケートを作成し、引率者全員による事前打ち合わせを実施した。

2 引率者のために役割、このアンチヨコを作った

これによって「事務局担当者の考えで、目に見える形で、引率者に理解してもらい、参加児童にも正しく伝えられる」ようにしたかったからである。

アンチヨコは、「コピーして、白ボール紙に糊づけし、配布した。ここが大切なところだと思ってるが、引率者に渡す時、「実際に指導する時『こんな事を通加し左方が良い』とか『これは、このように変えた方が良い』と思ったら、遠慮なく記入し、行動して下さい。次回に役立ちますから」とつけ加えた。

二、評価と反省

これによって、引率者を生かすことに吸収しようとしたのである。引率して下さった先生方からは「全体の流れや、自分の役割、その他、自分が何をすべきか

表1 事業の概要

期日	昭和61年5月31日～6月1日(一泊二日)
会場	新潟県少年自然の家
対象	市内小学校6年生
活動内容	オリエンテーリング・グループワーク
引率者	市公民館・社会教育課職員、市レク協会員、小学校有志教員

がわかった。なまじり好評だった。子ども達からは、入れ代わり立ち代わり、それぞれの担当の先生が出て来るものだから、「連絡が多すぎる」なまじり言われた。しかし、全体として、児童も、当方

のねらいや目標を理解し、「協力していた」ようである。アンチヨコの効果が大きかったものと思っている。

公民館の職員は、忙しなくてめが苦手だと言われるが、このアンチヨコを使用すると、引率者から、その場で気づいたことを記載しておいてもらえるので、わざわざ反省会を特設しなくても、次回に生かす有力な評価と反省の資料となる。

公民館職員が多忙であればある程、こうしたアンチヨコを持つことによって、合理的に、効果の高い事業が実施できるものと思われる。さらには、引率者も、効果的な事業の展開に励む。

(関連資料七冊)
(村上市社会教育主事 田嶋雄洋 記)

プロフィール

加茂市公民館主査

荒井 勉氏 (42歳)

早寝早起きをモットーとして、毎朝五時起き、十キロメートル程のランニングを行い、一汗流した後は冷水擦浴で身体を引き締め体調を整え、壮健な気分を養う。彼は、今加茂市公民館の大黒柱である。彼は、公民館の仕事を実に手際よくしかも緻密に処理する。公民館に勤務して一年半、将来が大いに期待されている。公民館に来る人達も彼を信頼し、よき相談相手として集まってくるようになった。スポーツなら何でも好きという彼は、加茂陸協の事務局を一手に引き受け、もうかなりの年数になる。朝は早くから、中食休みの一寸した時間を休まず、実によく公私の仕事の切り替え、それぞれの仕事を処理し

ている。家にはスポーツが縁で結婚した妻のものと、高一と中三の二児がいて、さらに母親を加えた五人家族である。愛妻も市役所に勤め西ノ瀬の紅一点、彼と同じく年中多忙な日々を送っている。彼女もスポーツウーマンで特に加茂市のママさんバレーの中堅として活躍。更に加茂市生活協会の事務局も引き受け、婦人の講習活動に二役かっている。

加茂市では子供会育成会の活動が最も活発だが、彼の町内でもこの組織があり、彼の結成に向け努力をし現在リーダーとして実によく会をまとめている。また、彼は飲みながらミニニケーションを図るのが極めてうまい。ミニニケーションを図ることは公民館の仕事を進める第一の条件とされている。今、公民館には明るく暖かい空気が漂っている。

彼は四十二歳、正に働き盛りだ。体だけは何よりも大切に、一層公民館を盛り上げて欲しいものである。



(加茂市公民館長 山田敏二)



シンポジウムのスナップ

下越公民館連絡協議会

盛会！宿泊研修会

役員研修会を開催

去る九月九・十日の二日間、下越地区公民館連絡協議会主催の公民館役員研修会が、燕市・西蒲地区公民館で開催された。...

泊研修が極めて放枝のあるものであろう。本研修会も、相互協力や、連帯の絆をより一層強く、しかも太くすることができたらしい。...

図書推薦コーナー

信越の中堅100社

地域社会に活力があるからか、はた、その地域にいくかに多くの優れた企業が根づいているかどうかによって決まる。

情報化社会の行政改革

島 恭彦 他編

「いったいこれからどうなるのか」という不安や、新しいものへの期待がひろがっている。

地方公共団体 O.A.ブランド・シ

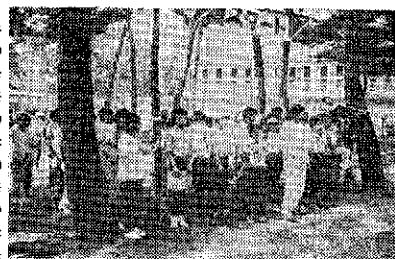
地方自治情報センター編

地方公共団体におけるO.A.化の状況は、パーソナル・コンピュータ、ワード・プロセッサなど、単体のO.A.機種の導入を中心に見及ぼしている。

地域おこしの仕掛人たち

五十嵐富英 他著

地域おこし運動が花盛りである。地方圏の町や村は長い間、国の財政資金に頼ってきたが、その財政も、財政再建が緊急課題となり、町や村の経済を過す力を失ってしまった。



オリエンテーリングのスタート付近で

「学校でやる、集団宿泊訓練の時は、先生の指導や注意が多すぎる、公民館の人たちは、指導が少なすぎた。今度の研修会ぐらいがちょうどいい」と、児童たちは遠慮のない評価をしてくれた。

このアンケートには、No.2があり、「夜のつどいのとき」が、同じ形式でできており、No.1・2で一つの係のものになっている。同様の用紙は、活動係のほかに、記録係・保健係・書写係・生活係・班長の六係の担当指導者用を作成した。...

調査にご協力を

県下の公民館界では、近年一般に職員のため、本紙を通じて、行政と運動した短期間の配置転換「初任者業務研修」(仮称)なるにより、職員の方針同様の傾向が顕著になっています。...

調査対象は、赴任後2年未満の職員全員です。調査時期は、調査用紙の配布・回収とも十月中旬に済ませたいと思っています。近々調査用紙を送付しますので、用紙の届いた人は準備で調査に協力してください。

「活動係」の担当報告書 No.1
第1日目の夜会議 (18:30-19:00) のとき
1. 自己紹介 (出席者も、見習も) 元気よく話に乗るよう
2. 引率者は、自分が「活動係」の担当であることを知らせる
3. 「活動係」の仕事の内容を、見習に書かして返させる (1人1項目ずつ) 全員に理解させる
...
2. 夜の活動で準備がある場合
各係の代表者は (G:) に () を () へ集合してください。
夜の準備をします。
Memo

事業紹介 VII

県社会教育課関係事業

青少年科学フェスティバル

青少年の科学する心を育てるため、青少年が一堂に会し、地域における科学活動の成果を発表しあう機会です。

期日 11月9日(日)午前9時から

会場 県立上越科学館(上越市)

対照 小・中・高校生及び父兄など。科学に関心をおもちの方

当日直接会場へ

主な内容 講演「科学する心」「研究発表」など

している高校生を一堂に会し、実習活動等の成果を発表しあう機会です。

期日 12月20日(土)21日(日)

会場 県青少年研修センター

対照 高校生ボランティアスカラー修業者など

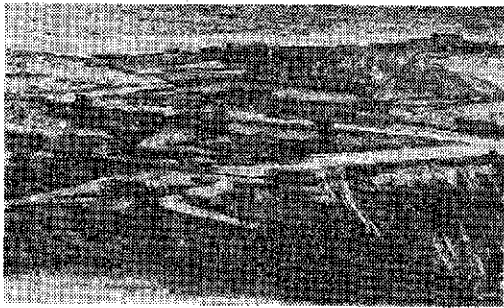
中込み 市町村教育委員会等取りまとの上、11月29日までに所轄教育事務所へ

文作品として応募

今回の展覧は、抑留中の記憶「カラカソの印象」・「カサフタの女」といった横山操の生命力が生きたまわられた大作群、一方、「母上」・「朔原」・「戦後の日本画界に大きな波紋を及ぼしながら暮星のよちよちとていつか横山操」(よちよち・みさお一九二〇—一九三三)・「激動と愛情の大地」(昭和三〇—三〇年代の回廊に強い衝撃を与えました)。

ほとばしる情熱の画家

横山操展



「朔原」よちよち(一九五九)

戦後の日本画界に大きな波紋を及ぼしながら暮星のよちよちとていつか横山操(よちよち・みさお一九二〇—一九三三)・「激動と愛情の大地」(昭和三〇—三〇年代の回廊に強い衝撃を与えました)。

彼は、西蒲原郡田町の生まれ。上京して川端寛子の主宰の書龍展で画壇に登場。その後応召して中国大陸を転戦のち、シベリアに抑留されること五年。復員後は、激しい情熱と行動力を示し、著したまう。自ら信じてゐることを

電話 0252-25-3772

高校生リーダーシップ研修(冬季)

高校生生活の活性化を図るため、会場 県立青少年研修センター

リーダーとしての生徒会活動の在り方や、集団行動の知識・技能を習得する機会です。

期日 12月25日(土)から27日(土)

対照 県立青少年研修センター

中込み 高等学校または市町村教育委員会等取りまとの上、12月18日までに県青少年研修センターへ

自然に親しむ親子の集い(第三回)

県少年自然の家では、青少年の情操や社会性をほぐすため、クリスマスとちつき大会をテーマにした親子の集いを開催します。

期日 12月13日(土)14日(日)

会場 県少年自然の家(中条町)

対照 小・中学生とその親御人

集いなど

経費 一人二千円(食費含)

中込み 県少年自然の家に電話で問い合わせ、指示に従って下さい。(電話0252-26050)

社会教育主事等研修会

市町村の社会教育関係職員等を研修会を開催します。

対照に、資質・指導力の向上を図るため、前・後期の二回に分け、

前期 11月18日(火)19日(水)

後期 12月12日(木)13日(金)

関東甲信越社会教育

放送利用研究会

ラジオ、テレビ等の放送番組を参加対象、関心をおもちの方、メディアとして活用し、学習活動が効果的に行われる方法を考えるための研究協議会です。

期日 11月6日(木)7日(金)

会場 新潟市音楽文化会館

主会場 新潟市音楽文化会館

コースと主題 指導者コース、家庭教育コース(おもてちはいま、高齢化社会(若いて美しく)、趣味(俳句でいきいき)、救済(「大黄河」への誘い)

自由(会場へ)

問い合わせ 詳細は、NHK新潟放送局へ

(電話)025-233-2222

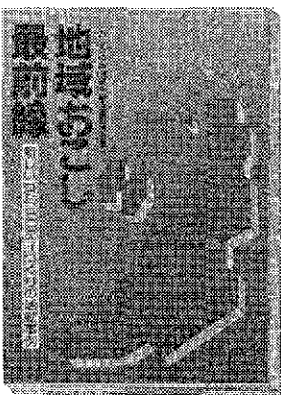
あともがき

県公民館大会が、中越地区公連地元市町村会連の協力添え盛況を遂げました。求自書は、県大会の特集号にします。(下村記)

地域おもしろい最前線

新潟県民生活の最前線

良書紹介



近年、県内各地で新しいミニミニ活動が盛んである。活動の型も組織も取り組む個性や独自性がある。その主な活動事例を広く紹介したいという意図から、昭和60年、毎年新潟県支局が中心になって32の活動集団や地区を取材。毎週一回「毎日新聞」(新潟版)に掲載された。また、それより先に、あしたの新潟県を創る運動協会と新潟日報社が主催して、顕著な実績をあげている集団の

活動内容を「新潟日報」紙に掲載してきた。

本書は、これらの紹介記事に、若干の関係記事を加え、集録集したものである。地域の活性化と大きなかわりを持つ公民館関係者にお勧めする良書である。

A5版100ページ 頒価600円

申込先 新潟市新光4-1-1 県庁県民広聴課内

あしたの新潟県を創る運動協会